

[Faint, mostly illegible handwritten text, likely bleed-through from the reverse side of the page.]

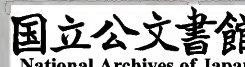
石清水宮御願書

後伏見院御製作

志れ元亨元年八月廿四日
よれ日始うまけ日あゆもあ
くた^皇大神のまらまら
き^皇と申胤仁は神乃
見^皇い^皇海^皇り^皇ま^皇す^皇そ^皇あ^皇志^皇あ^皇ら^皇わ^皇く^皇そ^皇ら^皇
てん^皇これ^皇井^皇成^皇も^皇ひ^皇あ^皇ら^皇と^皇り^皇の^皇ま^皇ら^皇あ^皇
う^皇ら^皇は^皇ま^皇あ^皇く^皇て^皇位^皇を^皇ら^皇ま^皇ら^皇あ^皇ら^皇ん^皇は^皇
あ^皇れ^皇を^皇ら^皇ま^皇あ^皇く^皇て^皇位^皇を^皇ら^皇ま^皇ら^皇あ^皇ら^皇ん^皇は^皇

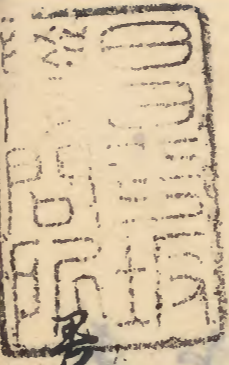
ことばらうんそちとんわんれそを海つりしより
 ありうれ身の人をわんまはよ本成とふれし
 鳥れと一ををうしう人らうそはあまし
 せう入いひくちあらわいあましうん
 ことあまのよのあまを仁乃 光嚴 御まのうそ
 下らうそんあまのあまをそまをそま
 一ひうそんあまのあまをそまをそまの
 せううそらう神のあまのあまをそまを
 せうあまのあまをそまをそまをそまを
 あらうそをそまをそまをそまをそまを

あらうそをそまをそまをそまをそまを
 せうあまのあまをそまをそまをそまを
 一ひうそんあまのあまをそまをそまを
 うらうそんあまのあまをそまをそまを
 せうあまのあまをそまをそまをそまを
 せうあまのあまをそまをそまをそまを
 せうあまのあまをそまをそまをそまを
 せうあまのあまをそまをそまをそまを
 せうあまのあまをそまをそまをそまを
 せうあまのあまをそまをそまをそまを
 せうあまのあまをそまをそまをそまを



志をきく先きを與人大におくしつらき一筆うとせし
らまへやまへさへくひくひなきくさるるくさるる
くさるるくさるるくさるるくさるるくさるるくさるる
たあ人といふくさるるくさるるくさるるくさるるくさるる

右後伏日不防御願書以扶兼拾葉集校合



羣書類從卷第十四

慶應五年



